

アディオス アミーゴ

Adiós Amigo 銅版画家 深沢幸雄 追悼特別展

会期 2018年1月6日[土]-2月12日[月・祝]

開館時間 10:00-17:00 (土日祝は延長あり・入場は閉館の30分前まで)

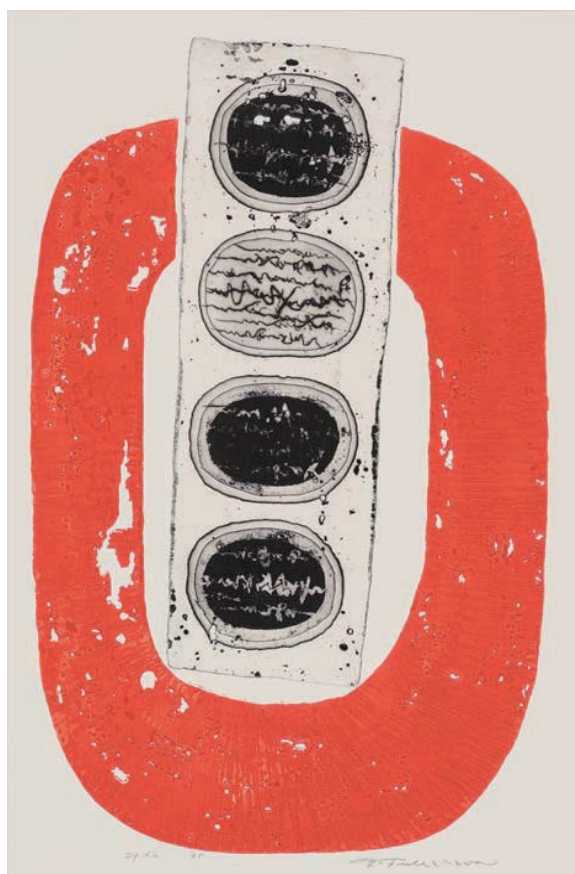
休館日 月曜(祝日の場合、翌平日)

料金 無料

主催 市原市、市原湖畔美術館 [指定管理者:(株)アートフロントギャラリー]

連携会場 市原市役所1階ロビー・市原市立中央図書館

同時開催 南市原エリアのギャラリーにて「ぼくらの深沢幸雄展 vol.6」



「記録」1965年



展覧会について

戦後日本を代表する銅版画家であり、市原市名誉市民である深沢幸雄氏が、2017年1月に92年の生涯を閉じました。当館では、一周忌に際し、故人を偲び、また深沢幸雄氏の功績を広く紹介する機会となるよう、追悼特別展を開催いたします。

展覧会タイトルに付した「Adiós Amigo(さよなら友よ、また会おう)」は、深沢氏が授業の終わりや来客を見送る際に決まって口にする言葉でした。本展では、情熱的で温かい氏の人物像を紹介しながら、銅版画の処女作から最晩年までの代表作、ガラス絵・陶芸・書を含めた約100点の作品を紹介いたします。度々作風を変化させながらも、一貫して人間の内面を描きつづけた60年以上に及ぶ深沢氏の軌跡をたどります。

作家略歴



深沢 幸雄（ふかざわ ゆきお）[1924-2017年]

深沢氏は1924年山梨県に生まれ、東京芸術大学を卒業後に義父のすすめで千葉県市原市にアトリエを構え、千葉県立市原高等学校で教壇に立ちながら油絵を描いていた。しかし、東京大空襲で負傷した足に負担がかかり、独学で銅版画を学ぶこととなる。それ以来、熱心に銅版画技法の研究を重ね、現在では卓越した技術力に裏付けられた詩情あふれる作風が世界的に評価されている。銅版画の名手として数々の受賞歴を誇り、紫綬褒章やメキシコ合衆国の政府が外国人に授与する最高栄誉の勲章であるアギラ・アステカも受章。また、高校教員を退いたのち日本版画協会理事長、多摩美術大学教授を歴任するなど後進の指導に尽力した。2016年には、これらの功績が称えられ市原市名誉市民の称号が贈られている。

展覧会のみどころ

1. 深沢幸雄の大回顧展

本展では、60年余りに及ぶ深沢幸雄氏の画業を、代表作、ガラス絵・陶芸・書を含めた約100点の珠玉の作品によって辿ります。銅版画の処女作「廃墟の貌」から遺作となった「鳥達の会話」を展示するほか、深沢が開発した自動目立て機「チンタラー世」もご覧になれます。

2. 深沢幸雄とメキシコ

深沢は1963年にメキシコ政府の依頼で銅版画技法教育のために初訪問して以来、街や人々が持つ活気、古代文明に由来する遺跡に魅了され、自身の創作にも影響を受けてきました。本展では、深沢がメキシコで何を思ってきたのかに焦点を当て、深沢の残した写真・映像と共に作品を紹介します。なお、メキシコをめぐる映像制作には、深沢の出身地である山梨で活躍する田我流&FALCONと向山正洋(MMM)が特別参加します。

3. 市原の作家 深沢幸雄

当館の周辺地域である南市原エリアでは、深沢の教え子や地元の愛好家が集い、「ぼくらの深沢幸雄展」と題した自慢の作品を持ち寄る展覧会が開催されてきました。このユニークな活動の記録を紹介するとともに、個人コレクションより油彩画4点を初披露いたします。

また、本展会期中には、複数のギャラリーにおいて第6回目の「ぼくらの深沢幸雄展」が開催されるほか、バスツアーも開催いたします。(詳細下記)

展覧会関連イベント

1. 版画体験教室

メゾチントという技法を使い、ポストカードサイズの作品を1人1枚完成させます。

日程：1月14日(日)・2月11日(日)

時間：各日14:00～17:00

参加費：500円／先着15名 事前申し込み制

講師：薬師寺章雄(共立女子大学非常勤講師・日本版画協会会員)

2. 市原湖畔美術館発着バスで巡る

「ぼくらの深沢幸雄展 vol.6」ギャラリーツアー

日程：1月13日(土)・20日(土)

時間：各日13:00～17:00

参加費：無料／先着20名 事前申し込み制

会場：ぎやらりい駅舎／酪・ガレリア／アートハウスあそうばらの谷／内田未来楽校／ギャルリ夢心房



主な展示作品 (*広報用画像としてご使用いただけます)



《骨疾E》1955年



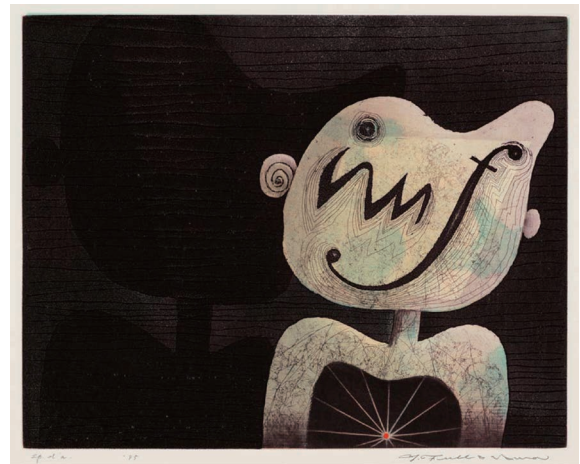
《記録》1965年



《星の門》1972年



《凍れる歩廊 (ベーリング海峡)》1978年



《楽土の子》1995年



アクセス

所在地：〒290-0554 千葉県市原市不入75-1

小湊鉄道「高滝」駅より徒歩20分

お車で：圏央道「市原鶴舞IC」より約5分

高速バスで：東京駅・羽田空港・横浜駅より約1時間

(市原鶴舞バスターミナル経由、タクシーで約5分)



お問い合わせ

市原湖畔美術館 担当：石井・渡辺

tel: 0436-98-1525 fax:0436-98-1521

info@lsm-ichihara.jp www.lsm-ichihara.jp

